

平成 30 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	福山市立緑丘小学校
-----	-----------

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

本校は児童数 785 名、学級数 29 学級の大規模校である。

給食は市内統一献立による共同購入を行う単独調理方式であり、食数は幼稚園も含め 900 食である。

児童の実態としては以下のことがあげられる。

	本校	広島県
①毎日朝食を食べています。	92.2%	94.8%
②嫌いな食べ物が出た時、残さず食べています。	76.8%	79.2%
③食事の時、食器やはしの持ち方のきまりや良い姿勢で食べるなど、マナーを守って食べています。	86.9%	88.7%
④食事を残さず食べています。	87.7%	92.2%
⑤広島県の食材を知っていますか。	91.2%	94.6%
⑥広島県の郷土料理を知っていますか。	78.4%	84%
⑦給食の残食率（市内一斉残食量調査結果）	1.1%	1.3%

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

本校の学校評価指標の食育の成果指標には以下のことが挙げられている。

- ・食に関心がある児童 90%以上

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組 1】（テーマ） 食に関心がある児童 90%以上に向けての取組について

①各教科の栄養教諭とのかかわり

食に関する全体指導計画をもとに各学年に一回以上授業に栄養教諭が入るよう計画した。

第 1 学年学級活動「学校探検」

給食室の様子を伝え、給食を残さず食べようとする意欲を高めた。

第 2 学年学級活動「魚について知ろう」

魚の栄養やどのように給食室で魚料理を作っているか伝え、魚料理を食べようとする意欲を高めた。

②明治乳業による出前授業

第 3 学年「ミルク教室」

朝ごはんについて学び、バター作りを行った。保護者も参加できるよう「学校へ行こう週間」で実施した。

③給食委員会の取組

給食委員会は毎日給食についての放送を行っている。しかし、給食放送までに準備を終える学級は多くないため、放送内容が伝わってない現状があった。そのため、給食準備を早くするための取組を児童朝会で発表し、学校全体で取り組んだ。今ではほとんどの学級が給食準備を早く終え、ゆとりのある給食時間となっている。

【取組2】(テーマ) 「学校給食の理解に向けての月1回以上の食育だよりの発行」

学校での給食時間の様子や食育の授業の様子を食育だよりで家庭に知らせた。

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

①夏休み子ども料理

夏休み子ども料理教室では「給食の人気メニューを作ろう」をテーマに実施し、メニューの中に「フレーフレー！サンフレぶどうゼリー」を取り入れた。栄養教諭と給食技術員で指導を行った。

②校内の取組

栄養教諭が教室に行き、取組について説明した。チラシと一緒に「つくレポ」を配布した。「つくレポ」は通信や給食室前に掲示した。シールをよく集めたクラスに表彰をした。

5 取組に対する成果と課題

【成果】

取組結果については以下の通りである。

	本校		広島県
	H29	H30	
①毎日朝食を食べています。	92.2%	92.5%	95.8%
②嫌いな食べ物が出た時、残さず食べています。	76.8%	81.4%	79.1%
③食事の時、食器やはしの持ち方のきまりや良い姿勢で食べるなど、マナーを守って食べています。	86.9%	87.2%	89.5%
④食事を残さず食べています。	87.7%	90.1%	92.6%
⑤広島県の食材を知っていますか。	91.2%	95.8%	92.5%
⑥広島県の郷土料理を知っていますか。	78.4%	81.6%	72.9%
⑦給食の残食率（市内一斉残食量調査結果）	1.1%	1.3%	1.4%

前年度と比較するとどの項目も横ばいか増加傾向にある。

【課題】

朝食を食べてきている児童が県平均より低い。また、朝食の内容についても主食・主菜・副菜がそろった朝食を食べている児童は69%である。

6 今後の取組に向けた改善方策について

課題を解決するために「食に関する全体指導計画」を見直し、来年度も各学年に一回以上、授業に栄養教諭が入るよう計画をした。また朝食摂取向上のため家庭に啓発して保護者の意識を高めていく。児童の食に関する実践力がより高まるよう担任と連携して計画的に指導していきたい。